京都大学フィールド科学教育研究センター

・木文化サロンセミナー・

研究の現場で求められる“知的協働”のあり方とは？

農学部出身森林コンサルタントの10年間の現場経験からの提言

相川　高信　（三菱UFJリサーチ＆コンサルティング・副主任研究員）

研究者と社会とが互いに学ぶところのある対話を生み出すために

水町　衣里　（京都大学物質-細胞システム拠点・特定研究員）

2013年7月8日（月）

15:00～17:30　※講演終了後にフロアとのディスカッションを予定しています

京都大学フィールド科学教育研究センター第一会議室
（農学部総合館北東角2階 N283）

申込み
不要

参加
無料

本セミナーは、当センターの「森里海連環学」にもとづく研究プロジェクト『木文化プロジェクト』によるセミナーです。プロジェクトでは、森林の管理不足が日本の生態系を荒廃させた原因の一つであると考え、自然科学と人文社会科学の両面からのアプローチにより、森・里・海の自然と人間社会のバランスのとれた「木文化社会」の提案を目指しています。

今回のセミナーでは、森林コンサルタント、科学コミュニケーターとしてそれぞれ震災被災地、各種ワークショップ等の現場でご活躍中のお二人をゲストにお招きし、今後、研究者と地域社会との様々な「協働の現場」で求められる“知的協働”のあり方について考えてみたいと思います。

木文化プロジェクト　http://fserc.kyoto-u.ac.jp/proshien/kibunka/index.html

お問合せ　e-mail　proshien@kais.kyoto-u.ac.jp　Tel　075-753-6434（森里海連環学プロジェクト支援室）